

# 50

## 成人の一次救命処置(BLS)

正しい救命処置の知識と手技



反応の確認

歯科臨床において、救命処置を必要とする状況に直面することは少ないが、一般市民に比べると必要となる可能性は多いと思われる。

一次救命処置 (BLS) アルゴリズムは、市民用 BLS アルゴリズムと医療用 BLS アルゴリズム (101 ページ) に分かれる。歯科衛生士は医療用 BLS アルゴリズムを行う。

BLS アルゴリズムには「判断に迷えば下に進む」、つまり、より患者の病態が悪いほうを選ぶという基本原則がある。



呼吸・脈の確認

### 一次救命処置の手順

#### ① 周囲の安全性の確認と傷病者の評価

周囲の安全を確認し、その場で処置を行うことが危険と判断される場合には、傷病者を安全な場所へ移動させる (p.101 カラム 1)。

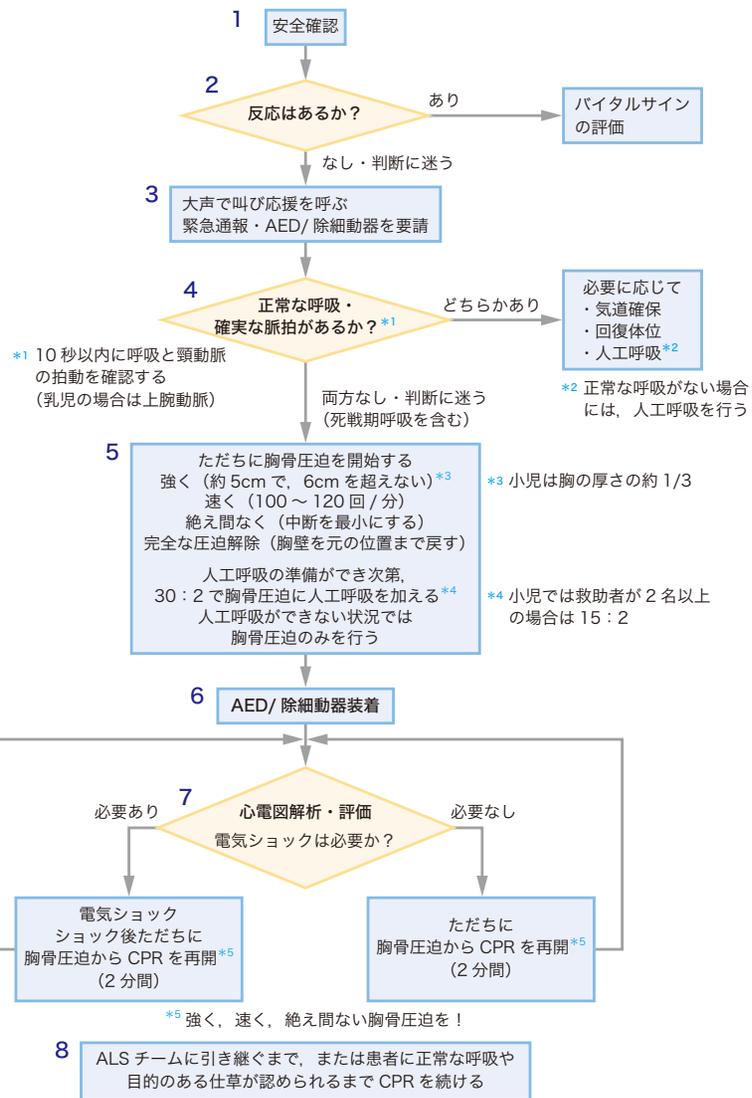
両肩を軽くたたきながら大きな声で呼びかけ、反応がみられない場合には「反応なし」とみなす (カラム 2)。

反応がない場合には、ただちに救急システムへの通報と、自動体外式除細動器 (AED) の要請を行う (カラム 3)。

#### ② 呼吸・脈拍の確認

呼吸と脈を同時に 10 秒以内に確認する (カラム 4)。

呼吸の確認は胸部と腹部の動きを確認する。呼吸がないか、あっても普段どおりでないときは、呼吸がないと判断する。心停止直後にみられる、あえぐような呼吸 (死戦期呼吸・あえぎ呼吸) を



### 医療用 BLS アルゴリズム

(JRC 蘇生ガイドライン 2020, 医学書院, 2021)